

# 英会話初級

(選択2単位) 2年前期

Inoke Tulukinga Funaki, Jr. \*

## 授業テーマ・内容

この授業では実用的な日常英会話を練習します。穴埋め文章問題はリスニング、カルチュラルヒントは海外の文化の違いを理解する、またペアワークはスピーキング能力の向上と流暢さを伸ばすための練習です。

カルチュラルヒントのページについては、課題を与えられることがあるので、インターネットなどを利用して異文化の習慣等について調べておくこと。

予習は毎回の授業までに数ページ分の単語、発音、文章の意味などを調べる。授業中は出来るだけ大きな声で発話すること。また、会話力の上達は反復練習によって習得されるため、授業外での復習が非常に大事です。テキストに出てくるフレーズは基本的な会話の文章なので覚えるくらいまで声を出して練習するように。

## 到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

このコースのゴールは一般的な英語の読む、聞く、書く、話す、の全てにおいて学生の理解力と自信を向上させることと同様に、実用的な英会話技能を向上させることです。日常のシーン別に自然で状況にふさわしい会話が出来ようになるのがねらいです。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	40%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	60%

## テキスト

Speak Easy in Daily Conversation  
J. Metheny Sun Mihall Language Service

## 参考書

## 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

## 履修条件・備考

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	“Introductions”	Unit 1, pp. 1-2	予) Introductions (2H) 復) Introductions (2H)
第2週	“Introductions” (cont...)	Unit 1, pp. 3-5	予) Getting Know You / Fill in the Blanks (3H) 復) Introductions (3H)
第3週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 1, p. 6	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My Story (2H)
第4週	Various Exercises	Unit 1, pp. 7-8 / Unit 3, p. 1	予) Own Role Play / Match the Sentences (2H) 復) Own Role Play (2H)
第5週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 2	予) Fill in the blanks / Getting know you (2H) 復) Getting Know You (2H)
第6週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 3	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Adverbs of frequency (2H)
第7週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 3, pp. 4-5	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My story (2H)
第8週	Various Exercises	Unit 3, pp. 5-7	予) Match the Sentences / Hobbies (2H) 復) Hobbies (2H)
第9週	“The Good Listener”	Unit 4, pp. 1-3	予) Do, Does and Wh- questions (2H) 復) Do, Does and Wh- questions (2H)
第10週	“Making A Phone Call”	Unit 5, pp. 1-3	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone conversations (2H)
第11週	“Making A Phone Call” (cont...)	Unit 5, pp. 4-5	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone Conversations (2H)
第12週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 5, pp. 5-6	予) Getting Know You (2H) 復) My Story (2H)
第13週	Various Exercises	Unit 5, pp. 8-10	予) Information Exchange (2H) 復) Information Exchange (2H)
第14週	Time Expressions	Unit 6, pp. 1-2	予) Time Expressions (3H) 復) Time Expressions (3H)
第15週	Review Test		

# 生涯スポーツ I

(選択1単位) 2年前期

村上弘一、羽田信子\*

## 授業テーマ・内容

生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。

## 到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れるの必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	－%
中間試験	－%
小テスト	－%
演習課題	－%
レポート	40%
平常点	60%

## テキスト

## 参考書

## 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

## 履修条件・備考

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおくこと。(0.5時間) 復)授業概要を確認しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復)ストレッチングの方法等を復習しておく。(0.5時間)
第3週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	グループ対抗戦	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第12週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)

# 生涯スポーツⅡ

(選択1単位) 2年後期

村上弘一、羽田信子\*

## 授業テーマ・内容

生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。

## 到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れる必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	－%
中間試験	－%
小テスト	－%
演習課題	－%
レポート	40%
平常点	60%

テキスト  
プリント  
参考書

## 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

## 履修条件・備考

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおくこと。(0.5時間) 復)授業概要を確認しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復)ストレッチングの方法等を復習しておく。(0.5時間)
第3週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	グループ対抗戦		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第12週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)

# 日本語のはじまり

(選択2単位) 2年後期

斎藤安輝

## 授業テーマ・内容

人類の発生と進化、言葉の獲得といった、人類学の初歩および、文学の発生や、漢字の伝来とその定着に始まる主に仮名成立以前の漢文による文学、「古事記」・「風土記」・「萬葉集」など平安以前の古代日本の文学と歴史の展開を、実際に毎回作品を通して具体的に学ぶ。

## 到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

個々の事項を知るというより、講義により得た知識から、「歴史とは何か」「文学とは何か」「人間とはどういう存在か」などということを自発的に考えて答えを求める、「演繹的思考法」を身につけることが本講義の目指すところである。

## 成績評価の方法・評価基準

平常試験(完全論述式)	80%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	20%

## テキスト

新日本文学史 秋山虔編 文英堂  
随時プリント配布

## 参考書

## 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回冒頭に課題を提示し、簡単なレポートを記述して提出。  
それらをもとに、質問、討論を行う。

## 履修条件・備考

平安遷都以前の初歩的な日本史の知識を要す。

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	文化と人類	人類にとって文化とは何か	予)文化の定義とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第2週	人類の誕生と進化①	猿人の誕生	予)霊長類とヒトの違いは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第3週	人類の誕生と進化②	直立二足歩行	予)直立二足歩行はヒトに何をもたらしたか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第4週	人類の誕生と進化③	親指の対向性	予)自分の手はどのような構造になっているか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第5週	人類の誕生と進化④	道具の使用	予)道具とは何か?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第6週	モンゴロイドの大移動	原人の脱アフリカ	予)人種とは何か?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第7週	日本人のルーツ①	縄文人	予)縄文時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第8週	日本人のルーツ②	弥生人	予)弥生時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第9週	移動と定住	狩猟採集生活と稲作定住生活	予)生活のスタイルはどう違うか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第10週	戦争と土地占有	戦争の起源と弥生時代	予)ヒトはなぜ戦争をするのか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第11週	国占めと国見 -大王の土地占有-	『風土記』に見る土地占有説話	予)土地を占有するためには何をすればよいか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第12週	無文字と口承 -カタリ文学	口承文学と漢字の伝来	予)文字を使わずに言葉を伝達する方法は?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第13週	国生み神話 -日本のはじまり-	『古事記』の国生み神話	予)どのような日本神話を知っているか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第14週	古代の死生観① 黄泉国	日本人は「死」をどのように考えているか	予)「死」と「生」の違いは何か?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第15週	平常試験		予)試験範囲の復習(3時間) 復)答案の検討(1時間)

# 社会と経済のしくみ

(選択2単位) 2年前期

荒井敏男\*

## 授業テーマ・内容

現代の「社会と経済」のしくみおよびその問題点について理解するために、前半では経済学の基礎知識と歴史を学ぶ、言わば「しくみ」についての学習である。具体的には、基礎知識では市場のメカニズム(資本主義経済)の理解を中心に学び、歴史では第2次世界大戦後の日本経済の歩みを振り返っていききたい。  
後半では、現在の経済社会における諸問題について考察する。例えば、働き方の改革が国会で議論されてきたが、雇用環境の悪化が深刻化する中、どのような改革が求められているのか、といった時事的な事項を取り上げつつ、具体的な現状を念頭に、学生諸君とともに考えていきたい。

## 到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

授業を通じて、学生諸君が新聞やTVニュースで報じられる経済問題や社会問題を理解できるようになること。また、卒業後、社会人としてキャリアを積んでいく際に、「自学自習」できる基礎的な素養を養うこと。この2点を授業の到達目標とする。経済学を本格的に学んだことのない人が大半であるので、様々な現実の事例に言及したり、基本的な事項をその都度、確認・説明していくなど、できるだけわかりやすい講義を心がけたい。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	70%
中間試験	30%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	—%

## テキスト

教科書は使用しない。

## 参考書

次の文献は基礎知識の習得に有効な入門書である。なお、①は第1～4週の講義に、②は第5週～第9週の講義に、③～⑤は第10週からの講義に関連する参考書である。  
①『高校生のための経済学入門』(小塩隆士、ちくま新書)  
②『戦後の日本経済』(橋本寿朗、岩波新書)  
③『成熟日本への進路』(波頭亮、ちくま新書)  
④『どうなる世界経済』(伊藤元重、光文社新書)  
⑤『日本経済入門』(野口悠紀雄、講談社現代新書)

## 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

中間試験の解説を通じて、授業内容のさらなる理解を進めて行きたい。

## 履修条件・備考

TVニュースや新聞等を通じて、日ごろから経済や社会に関する報道(情報)に目を配っておくことが望ましい。

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
<経済学の基礎知識>			
第1週	資本主義経済の歴史と理念	資本主義と社会主義、ケインズ経済学、市場原理主義	予) シラバスを通じた授業の概要の把握(約2時間) 復) 授業概略の確認と経済学の基本的な考え方の理解(約2時間)
第2週	市場と経済主体	市場メカニズム、様々な市場	予) 参考文献①の市場の機能に関する箇所(約2時間) 復) 資本主義経済の特徴と関連する市場の機能についての確認(約2時間)
第3週	経済政策	財政金融政策、産業政策	予) 参考文献①の経済政策に関する箇所(約2時間) 復) 市場への政府の介入(約2時間)
第4週	グローバル市場の展開	国際取引、為替相場、企業の国際的な事業展開	予) 参考文献①の国際経済に関する箇所(約2時間) 復) 身近な国際取引の事例について(約2時間)
<戦後の日本経済の歩み>			
第5週	復興期	戦争の被害、民主化、ドッジライン、朝鮮戦争特需	予) 参考文献②の復興期に関する箇所(約2時間) 復) 復興期の特徴の整理(約2時間)
第6週	高度成長期前期	高度経済成長の要因	予) 参考文献②の高度経済成長期に関する箇所(約2時間) 復) 高度経済成長の要因の整理(約2時間)
第7週	高度成長期後期中間試験(予定)	高度経済成長の帰結	予) 参考文献②の高度経済成長期に関する箇所(約2時間) 復) 高度経済成長期の問題点の確認(約2時間)
第8週	激動の70年代	ニクソン・ショックと石油ショック	予) 参考文献②の石油危機に関する箇所(約2時間) 復) 日本経済の70年代における変化の整理(約2時間)
第9週	経済大国化への道	輸出の拡大、円高不況	予) 参考文献②の石油危機以降の日本経済に関する箇所(約2時間) 復) 80年代の低成長から経済大国化への変化の要因の整理(約2時間)
<現代の経済社会の課題>			
第10週	バブル経済とその崩壊	失われた20年	予) 参考文献③のバブル経済に関する箇所(約2時間) 復) バブル経済の帰結についての確認(約2時間)
第11週	規制緩和	雇用の流動化などの規制緩和の帰結	予) 新聞などから雇用の現状について調べる(約2時間) 復) 新自由主義的政策についての整理(約2時間)
第12週	日本社会の変化	少子高齢化・家族の変容・貧困問題	予) 参考文献③から日本社会の近年の変化を調べる(約2時間) 復) 日本社会の変化についての整理(約2時間)
第13週	グローバル化の進展	グローバル化の光と影(広がる保護主義)	予) 参考文献④・⑤から日本経済と世界経済について調べる(約2時間) 復) グローバル化と反グローバル化についての確認(約2時間)
第14週	アベノミクス	成長戦略の限界と成熟社会への道	予) 参考文献③および⑤の現在日本経済に関する箇所(約2時間) 復) アベノミクスの動向と問題点の整理(約2時間)
第15週	講義全体のまとめ	現代経済学の課題	予) 講義内容全体の再確認(約2時間) 復) 期末試験についての説明で取り上げた重要項目の確認(約2時間)
第16週	期末試験		

# 企業経営学

(選択2単位) 2年前期

大坂吉文\*

## 授業テーマ・内容

本講義では、技術に立脚する事業を行う企業・組織が、持続的発展のために、技術がもつ可能性を見極めて事業に結び付け、経済的価値を創出していくマネジメントの方法を学ぶ。マネジメント(management)とは広義の管理を意味し、経営目標を達成するための基本的な活動である。その範囲も開発、設計、生産、流通、安全等多岐にわたっている。

最初に経営を取り巻く環境と基本的な枠組みについて、次に具体的に開発、設計、生産、品質、物流について学ぶ。特に、生産システム(モノづくり)、品質管理については、多く時間を割き、具体的現実的な事例を基に講義し、社会人やビジネスマンまたはウーマンになったとき役立つ改善の考え方、手法に触れる。最後には、情報システム管理、安全管理、危機管理も学ぶ。

## 到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

マネジメントの仕方、改善の考え方、技法を習得することにより、それらを実作業で生かし、社会人やビジネスマンまたはウーマンとして、即戦力となり活躍出来ることを目標とする。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	70%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	30%

## テキスト

初學者向け「技術経営テキスト」-実践向け例題付きー  
大坂吉文他共著 理工図書 2014年3月初版

## 参考書

「中小企業経営診断の実務」 大坂吉文他著 TAC 出版  
「生産システム工学」 人見勝人著 共立出版

## 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

## 履修条件・備考

予習・復習を必ずし、授業には、ノート、電卓、定規を持参下さい。  
授業中は、携帯マナーモードにし、質問・意見を出してください。

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業計画の概要	予)シラバスに目を通し、授業概要を把握しておく(約2時間) 復)インダストリアル エンジニアリング(約2時間)
第2週	企業経営	企業経営概論、プロジェクトマネジメント	予)テキスト1、2章熟読(約2時間) 復)PERT(約2時間)
第3週	製品開発と設計ツール	製品開発プロセス、開発ツール	予)テキスト3章熟読(約2時間) 復)VEハブ エンジニアリング(約2時間)
第4週	ものづくりとIE(1)	生産システム、工程分析	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)生産性、工程分析の方法(約2時間)
第5週	ものづくりとIE(2)	IE、標準時間管理	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)標準時間設定方法(約2時間)
第6週	ものづくりとIE(3)	効率化へのアプローチ	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)JITとは、MRPとは(約2時間)
第7週	ものづくりとIE(4)	ラインバランス分析	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)ラインバランス分析法(約2時間)
第8週	原価管理	原価構成、財務管理	予)テキスト5章熟読(約2時間) 復)固定費、変動費、損益分岐点(約2時間)
第9週	品質管理(1)	品質の定義・日本の品質管理の歴史	予)テキスト6章熟読(約2時間) 復)製造品質と設計品質、QMとは(約2時間)
第10週	品質管理(2)	統計的品質管理	予)テキスト6章熟読(約2時間) 復)QC7つ道具(約2時間)
第11週	品質管理(3)	全社的品質管理	予)テキスト6章熟読(約2時間) 復)新QC7つ道具(約2時間)
第12週	品質管理(4)	製造物責任、品質保証、リスクマネジメント	予)テキスト8章熟読(約2時間) 復)消費者保護、リスク低減法(約2時間)
第13週	ロジスティクス	サプライチェーン、ロジスティクスの動向	予)テキスト9章熟読(約2時間) 復)在庫管理方式(約2時間)
第14週	情報システム	ICT、情報セキュリティ	予)テキスト10章熟読(約2時間) 復)情報管理の重要性(約2時間)
第15週	労働安全と危機管理	労働安全管理、メンタルヘルス	予)テキスト11、12章熟読(約2時間) 復)リスクマネジメント(約2時間)
第16週	期末試験		

**授業テーマ・内容**

我々の生活は様々な法律で囲まれている。また全ての法律が全ての人に関係するわけではない。場面場面により関係してくる法律には違いがでてくる。法律を大きく大別すると、市民としての生活に関する法律と、国民としての生活に関する法律とに分れる。前者を私法の領域、後者は国と国民の関係を定めた公法の領域である。私たちの日常のくらしにおいては、私法に関する法律が関係してくることが多い。私法の基本法は民法であり、民法を中心に学習することで、市民生活において法的な知識や経験がいかに大切かを学んでいく。法律行為の代表である契約については、契約の主体や契約の対象(客体)について論理的に学習し、制限行為能力者制度などについても深く掘り下げ、高齢者社会に法律がどのように関与しているかも説明していく。

企業経営における法律の関与も様々な角度から説明を行い、実務に役立つ法律知識を身につけることができるように学習する。

また、時事問題は法律的な問題を含んでいることが多く、状況に応じ、新聞等に掲載された時事問題を取り上げ検討していく。

法律は意外と身近なものである事に気づき、みなさんの生活に少しでも役に立つ講義なることを目標に取組む方針である。

日常生活における法律関係を自然と意識できるレベルになってもらいたい。

**到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連**

受講生が日常生活には網の目のように法律関係がある事を理解し、契約についての最低限の知識を身につける。

具体的な到達目標

<到達目標1>法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できるようになる。

<到達目標2>契約締結に必要な知識を身につける。

<到達目標3>コンプライアンスの意味を理解する。

<到達目標4>タイムリーな話題について新聞を利用して解説し、法理が身近な部分に関与していることを知る。

**成績評価の方法・評価基準**

期末試験	—%	中間試験	—%
小テスト	40%	レポート	—%
演習課題	30%	平常点	30%

**テキスト**

民法講義1総則(補訂第2版)  
高森八四郎著 法律文化社

**参考書**

**課題(試験やレポート等)に対するフィードバック**

授業内に行う課題については、講義内でポイントを解説および講評を行う。

**履修条件・備考**

コンバト六法等、小さな判例要旨集を用意してもらう。

**授業計画**

週	単元	内容	予習/復習
第1週	くらしをとりまく法律	日常生活においても、身の回りにたくさん法律がある。	予)新聞などで身近な法律に関する記事探す(2時間) 復)身近な契約を見つけ、まとめる(2時間)
第2週	権利の主体性と民法の基本原則	民法の基本は何かについて学び、人は契約等の主体であることを確認する。	予)教科書p13を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第3週	権利の主体性と民法の基本原則	所有権絶対の原則・私的自治の原則・過失責任の原則について学ぶ。	予)教科書p8-p9を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第4週	意思能力・行為能力・責任能力	契約に必要な能力について確認する。	予)教科書p15を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第5週	意思能力・行為能力・責任能力	制限行為能力者制度について学ぶ。	予)教科書p18を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第6週	権利の客体	契約の対象となる物について学ぶ。	予)教科書p81-p82を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと、身近な動産についてノートにまとめること。(2時間)
第7週	物権	所有権をはじめとした、モノに対する権利について学ぶ。	予)最近購入した物についてどのような契約をしたかを考えておくこと。(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第8週	法律行為と契約の法理	契約成立の要件とその効果について学ぶ。	予)教科書p91を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第9週	契約の種類	民法に定められた典型契約について学ぶ。	予)売買契約・賃貸借契約について身近に経験したケースをまとめておくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第10週	事務管理・不当利得・不法行為	契約以外の債権の発生原因について学ぶ。	予)意思表示(教科書P100)を熟読し、まとめておくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第11週	契約における意思表示	意思の不存在・瑕疵ある意思表示等、不完全な意思表示について学ぶ。	予)教科書p100-p101を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第12週	代理制度	現代社会における代理制度の役割や、無権代理・表見代理について学ぶ。	予)教科書p132-p133を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第13週	時効制度	取得時効や消滅時効などについて学ぶ。	予)教科書p205を読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第14週	民法とその他の法律の関係	くらしに関係する様々な法律を紹介する。	予)新聞で税制改革に関する記事を探し読んでおくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと(2時間)
第15週	税法と日常生活	税金とくらしとの関係を税制改正案を基に説明する。	予)2017年度税制改正案を調べておくこと(1時間) 身近な法律に関する記事検索(1時間) 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと。暮らしに影響が大きい税制についてまとめること。(2時間)

# 地球環境論

(選択2単位) 2年前期

鳥崎公寛\*

## 授業テーマ・内容

あらゆる生産活動は、何らかの形で環境(周囲)に影響を及ぼす。さらに、地球温暖化防止という人類史上経験のない課題を負いつつ、地球上の限られた資源をいかに有効に使用するかという立場から、今や活動の企画段階から最終処置まで「環境配慮」は欠かせない条件になっている。

日本は、かつて産業振興を優先した結果「公害」という痛い経験をしたが、法規制の施行と対策技術の開発やシステム構築等でそれらを克服し、今や環境面においては国際社会において優れた存在になっている。これらの技術の集積と仕組みの内容をたどるとともに、限られた資源の最適使用という命題のもとに「循環型社会の形成」のため、省エネルギー・リサイクル技術や仕組みについて、技術者としてどう取り組んでいくべきか、様々な視点からその方策を学習する。

## 到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

- ・ 環境問題の各事象のメカニズムを理解した上で、設計段階から廃棄・再利用に至るまで総合的な対策や仕組みを考えることができるよう、視野を広げながら基礎的な力をつけること。
- ・ 現在の「環境配慮型」志向に基づく製品開発やシステム構築から、その内容と背景を理解し、さらなる課題の在りかと改善方策を考察できるレベルに達することが望ましい。

## 成績評価の方法・評価基準

期末試験	60%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	20%
平常点	20%

## テキスト

新訂 地球環境の教科書 10講  
東京書籍刊 九里・左巻・平山 編著

## 参考書

## 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第2週～第13週(計12回)授業内で上記テキストに基づく課題演習を実施します(20分)。

記入レポートは回収し、評価を加え、次週に返却します。

## 履修条件・備考

授業の都度、講義資料(レジメ付表紙)及び最新の話題(新聞・雑誌記事等)を提供します。

## 授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	地球環境論の概要、授業の進め方	予)授業概要を把握(約2時間) 復)アンケート用語解説の理解(約2時間)
第2週	環境問題の歴史(1)	過去の失敗と教訓	予)演習テーマの選択・粗読①(約2時間) 復)産業公害の理解(約2時間)
第3週	環境問題の歴史(2)	「地球が危ない」	予)演習テーマの選択・粗読②(約2時間) 復)地球環境問題の理解(約2時間)
第4週	ものづくりと環境影響	生態系の保全と意義	予)演習テーマの選択・粗読③(約2時間) 復)生物多様性の理解(約2時間)
第5週	地球上の資源	原材料から見る資源と配分	予)演習テーマの選択・粗読④(約2時間) 復)エネルギー資源の理解(約2時間)
第6週	温暖化防止技術と取り組み	省エネルギー・新エネルギー	予)演習テーマの選択・粗読⑤(約2時間) 復)再生エネルギーの理解(約2時間)
第7週	公害防止と保全技術(1)	大気保全・排ガスの浄化	予)演習テーマの選択・粗読⑥(約2時間) 復)大気保全技術の理解(約2時間)
第8週	公害防止と保全技術(2)	水質の保全・浄化、騒音防止等	予)演習テーマの選択・粗読⑦(約2時間) 復)水質保全技術の理解(約2時間)
第9週	循環型社会の形成(1)	ゴミ問題と対策	予)演習テーマの選択・粗読⑧(約2時間) 復)廃棄物処理技術の理解(約2時間)
第10週	循環型社会の形成(2)	LCAとリサイクル技術	予)演習テーマの選択・粗読⑨(約2時間) 復)LCAの理解(約2時間)
第11週	環境リスクへの対応	化学物質への取り組み	予)演習テーマの選択・粗読⑩(約2時間) 復)環境リスクの理解(約2時間)
第12週	環境を管理するシステム	ISO14001等の構築	予)演習テーマの選択・粗読⑪(約2時間) 復)ISO14001の理解(約2時間)
第13週	環境政策と経済的手段	環境ビジョン・環境ビジネス	予)演習テーマの選択・粗読⑫(約2時間) 復)環境政策の理解(約2時間)
第14週	持続可能な成長	組織の社会的責任、国際的な視野	予)演習レポートの総チェック(約2時間) 復)低炭素社会の理解(約2時間)
第15週	理想的な街づくり	環境未来都市、スマートシティ等	予)配布資料の総チェック(約2時間) 復)環境の理想像の理解(約2時間)
第16週	期末試験		